

平成24年12月21日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 10件
(うちガス衣類乾燥機(LPガス用)1件、石油給湯機付ふろがま1件、石油ふろがま1件、石油温風暖房機(開放式)1件、密閉式(BF式)ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)1件、石油ストーブ(開放式)1件、ガスふろがま用バーナー(都市ガス用)1件、ガスこんろ(LPガス用)2件、屋外式(RF式)ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故 5件
(うち椅子1件、加湿器1件、LEDランプ(電球型)1件、電気洗濯機1件、照明器具1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故 2件
(うち調光器1件、エアコン(室外機)1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）について（管理番号A201200697）

① 事故事象について

建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡しました。現場に株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）がありました。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコールについて

当該製品を含む平成12年以前に製造された石油ストーブ及び石油温風暖房機（石油ファンヒーター）（下記③）に付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）については、長期間の使用による給油口の変形などの要因により、給油口がロックされたと使用者が誤認する「半ロック状態」になる事象が発生することが確認されています。石油ストーブ等の給油作業時に、給油口ふたのロック確認を行わなかった場合、給油タンクの給油口が「半ロック状態」で維持されていたことで、ストーブ等に戻す際にふたが開き、灯油がこぼれて火災になる可能性があります。

同社は、平成20年9月17日にプレスリリース、翌18日に社告を実施し、石油ストーブ等に付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）使用時の注意喚起をするとともに、販売店の店頭及び消費者へのアフターサービス訪問時におけるチラシ配布、テレビCM等により、平成12年以前に製造された石油ストーブ等の給油タンクについて、無償点検・修理（給油口ふたの半ロック状態を防止するため、ふたの開閉ちょうつがい部にスプリング機能を追加）を呼び掛けています。さらに、平成23年には、これまでの対策に加え、2月から灯油販売所への店頭チラシの配布、製品購入時におけるチラシの同梱を開始しました。

③ 対象製品等：対象製品名、機種・型式、製造期間、製造台数

- (i) 対象製品名 : コロナ石油ストーブ等に付属のカートリッジタンク（よごれま栓タンク）
- (ii) 機種・型式 : 平成12年以前に製造されたコロナ石油ストーブ等で、下表に示す型式に該当するもの
- (iii) 製造期間 : 昭和62年（1987年）～平成12年（2000年）

石油ストーブ(反射型)

製造年(西暦)	型 式			
1987	SX-1800DX	SX-2200DX		
1988	SX-1800	SX-2200	SX-1800DXA	SX-2200DXA
1989	SX-1810	SX-2210	SX-3000	
1990	SX-1820	SX-2220	SX-3020	
1991	SX-1840	SX-2240	SX-3040	
1992	SX-1850	SX-2250	SX-2250X	SX-3050
1993	SX-1860	SX-2260	SX-3060	
1994	SX-1870	SX-2270	SX-3060	
1995	SX-1880Y	SX-2280Y	SX-3080Y	
1996	SX-1800Y	SX-2200Y	SX-3080Y	NX-22Y
	RX-D18Y			
1997	SX-B21Y	SX-B26Y	SX-B35Y	SX-B27WY
	NX-26Y	RX-B21Y	RX-B26Y	
1998	SX-C210Y	SX-C260Y	NX-26Y	
1999	SX-D27WY			
2000	SX-E210Y	SX-E260Y	SX-E21Y	SX-E26Y
	SX-B35YA	SX-D27WYA	NX-26YA	KM-D27WY

石油ファンヒーター

製造年(西暦)	型 式			
1993	FH-3360AYL			
1994	FH-2570Y	FH-3270Y	FH-3370AYL	GT-2570Y
	GT-3270Y	FK-F250	FK-F320	KH-A25Y
	KH-A32Y	KH-3207Y		
1995	FH-2580Y	FH-3280Y	FH-5580Y	FH-2580AY
	FH-3380AY	NH-2580Y	NH-3280Y	GT-2580Y
	GT-3280Y	KH-B25Y	KH-B32Y	FK-G250
	FK-G320	AH-3280Y		
1996	FH-A30Y	FH-A37Y	FH-A47Y	FH-A60Y
	FH-A30AY	FH-A37AY	NH-A30Y	NH-A37Y
	GT-A30Y	GT-A37Y	GT-A30YJ	KH-A30WS
	KH-A37WS	KH-C30Y	KH-C37Y	FK-H30
	FK-H37			
1997	FH-B30AY	FH-B37AY	FH-B30BY	FH-B40BY
	FH-B50BY	FH-B62Y	NH-B30BY	NH-B40BY
	GT-B30BY	GT-B40BY	KH-B30WS	KH-B40WS
	KH-D30BY	KH-D40BY	FK-J30	FK-J40
1998	FH-C320BY	FH-C430BY	FH-C530BY	GT-C30Y
	GT-C32BY	GT-C53BY	FK-K32	FK-K53
	KCF-A300			
1999	FH-D320BY	FH-D430BY	FH-D530BY	FH-MD30Y
	GT-D30Y	GT-D32BY	GT-D43BY	GT-D53BY
	GT-EG30Y	GT-KS30Y	FK-L30	FK-L32
	FK-L43	FK-L53		
2000	FH-E62Y	FH-EX32BY	FH-EX43BY	FH-EX53BY
	FH-ES32BY	GT-E30Y	KM-30Y	KS-E30Y
	FK-M30	FK-M32	FK-M43	FK-M53
	FJ-V30Y			

(iv) 製造台数 : 石油ストーブ 2, 090, 000台
石油ファンヒーター 4, 270, 000台
計 6, 360, 000台

(v) 改修率 : 1. 6% (平成24年11月30日現在)

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・修理を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

また、事業者による点検・修理を受けられるまでの間は、次図に従って、給油口ふたが確実にロックしていることを確認してください。




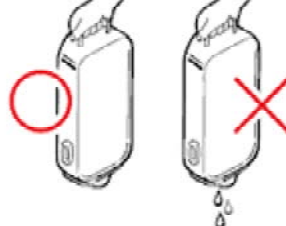
当該製品に限らず、石油ストーブ等に給油する際は、石油ストーブ等を必ず消火した上で、給油タンクのふたを確実に閉め、ふたが閉まっていることを確認し、石油ストーブ等に戻すよう、正しい給油方法に従って安全に給油を行ってください。

(株式会社コロナの問合せ先)

電話番号：0120-623-238

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く。）

ホームページ：<http://www.corona.co.jp/report/oshirase.html>

<p>警告 給油時消火</p> <p>●給油は、必ず消火し、火が消えたことを確かめてからおこなってください。火災のおそれがあります。</p> 	<p>危険 ガソリン厳禁</p> <p>必ず灯油をご使用ください</p> <p>●ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。</p>
<p>警告 油もれ危険</p> <p>●給油後、油タンクの給油口を確実にロックし、開かないことを確認してください。</p> <p>●給油後は、給油口を下にして油もれないことを確認してからストーブにセットしてください。</p> <p>①確実にロック → ②ロックの確認 → ③油もれの確認</p> <p>「パチン」と音が強く押すするまで強く押す</p>  <p>「パチン」</p> <p>②ロックの確認</p> <p>持ち上げて確認</p> <p>給油口をしめたあと、先端を指で持ち上げ、開かないことを確認してください。</p>  <p>③油もれの確認</p> 	
 <p>【製造年の表示位置】</p> <p>△△年製</p>	<p>【対象製品の製造年】</p> <p>2000年製 00年製</p> <p>？</p> <p>1996年製 96年製※ 及び 製造年表示のないもの</p> <p>※ファンヒーターについては94年製</p>

⑤独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）の対応

株式会社コロナ以外の事業者が製造・輸入・販売したガス・石油ストーブのリコール未対策品についても火災事故が発生しているため、独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）においては、平成23年2月18日より事故防止のための注意喚起チラシ「ガス・石油ストーブのリコール製品をお持ちではありませんか？」等をホームページに掲載し、消費者に対して、速やかに事業者に連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

（独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）による注意喚起）

ホームページ：

http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall_stove_110218.pdf

http://www.nite.go.jp/jiko/chirashi/data/pdf/57_recall-1.pdf

http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/winter_2011.pdf

(2) 株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）について
（管理番号A201200698）

①事象について

株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、平成19年4月19日からホームページによる告知とともに、ダイレクトメールの送付により注意喚起を行い、OEM製品を含む対象製品について無償点検・部品交換（ガバナ部（整圧器）等）を実施しています。

③対象製品等：会社名、機種・型式、製造期間

会社名	機種・型式	製造期間
(株)世田谷製作所	R38B R137B CS31B CS32B CS33B FE15 TA-097UET TA-270UET TA-OK270UET GS-1	1998年5月～2006年5月 1997年6月～2006年5月 1998年6月～1998年8月 1998年10月～2006年4月 2001年5月～2001年6月 2000年4月～2006年5月 1997年9月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 2000年11月～2005年11月
(株)オカキン	OK-AR型-LE OK-BR型-LE	1997年11月～2006年8月 1997年11月～2006年7月
東京ガス(株)	ST-913RFA ST-912RFBシリーズ ST-9150CFS	1997年6月～2006年5月 1998年5月～2006年5月 1999年10月～2006年5月
(株)ハーマン	YF702	1997年6月～2002年2月

改修対象台数

39,337台

改修率

72.1%（平成24年9月30日現在）

対象製品の確認方法：浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象表の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※ GS-1のストーブは除きます。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、改修対象製品には、株式会社世田谷製作所のガスふろがま用バーナーを組み込んだガスふろがまを製造している株式会社オカキンと、株式会社世田谷製作所からバーナー付ふろがまのOEM供給を受け、販売している東京ガス株式会社及び株式会社ハーマンの製品もあります。

(株式会社世田谷製作所の問合せ先)

電話番号：0120-634-126

受付時間：9時～17時（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/cgi-bin/pdfdata/20081211220036.pdf>

(株式会社オカキンの問合せ先)

電話番号：0120-581-126

受付時間：9時～19時（日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.okakin.com/news/0.html>

(東京ガス株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-133-278

受付時間：9時～19時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ホームページ：<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html>

(株式会社ハーマンの問合せ先)

電話番号：0120-248-772

受付時間：9時～17時30分（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.harman.co.jp/news/news18.html>

③森田電工株式会社（現 株式会社ユーイング）が輸入した加湿器について
（管理番号A201200694）

①事象について

病院で森田電工株式会社（現 株式会社ユーイング）が輸入した加湿器を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコールについて

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、制御基板上の電子部品に不具合があり出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、平成22年1月19日にプレスリリース及びホームページへの情報掲載を行うとともに、同年1月20日に新聞社告を掲載して、使用者に対し注意喚起を行い、対象製品について無償交換を実施しています。

③対象製品等：対象機種（品番）、輸入期間、販売期間、回収対象台数

対象機種（品番）	輸入期間	販売期間	回収対象台数
ML-550MF	1999年10月 ～ 2001年11月	1999年10月 ～ 2003年3月	60,075台

回収率 7.6%（平成24年12月20日現在）

対象製品の外観



対象製品の確認方法



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社ユーイングの問合せ先)

電話番号：0120-996-004

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.uing.u-tc.co.jp/announce/doc/a10011801.html>

(4) 三洋ハイアール株式会社（現 ハイアールジャパンセールス株式会社）が輸入した電気洗濯機について（管理番号A201200700）

①事象について

三洋ハイアール株式会社（現 ハイアールジャパンセールス株式会社）が輸入した電気洗濯機及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコールについて

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、当該製品のモーター用コンデンサーの製造工程において、異物が混入し、使用中に徐々に絶縁劣化を起し、出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、平成22年11月12日にホームページへ情報を掲載し、その後、平成24年9月21日にプレスリリース、同年9月22日に新聞社告を掲載するとともに、ダイレクトメールの送付により、使用者に対し注意喚起を行い、対象製品について無償点検・部品交換（コンデンサーの交換）を実施しています（三洋ハイアール株式会社（2007年3月解散）が輸入した電気洗濯機も含まれます。）。

③対象製品等：型式名、改修対象台数、販売期間、対象製品の製造番号

型式名	改修対象台数	販売期間	対象製品の製造番号	確認方法
JW-Z20A	12,600台	2002年4月～2005年10月	全て対象	a
BW-Z20A	4,320台	2002年4月～2003年3月		
BW-Z20B				
JW-Z23A	19,080台	2002年10月～2005年10月		
JW-Z45A	16,480台	2003年1月～2004年7月		
JW-Z50A	42,628台	2003年11月～2005年11月		
JW-Z50B				
JW-Z50C				
JW-Z50D				
JW-K33A	6,072台	2005年3月～2008年8月		
JW-K50B	10,080台	2005年3月～2008年8月	E100001～E100800 F100001～F109280	
JW-K50C	17,280台	2005年11月～2007年3月	E100001～E101440 F100001～F115840	
HSW-23M1	6,580台	2003年1月～2003年3月	全て対象	b
HSW-233M	2,160台	2003年1月～2004年5月		
HSW-50S1	40,719台	2002年5月～2003年8月		
HSW-50S2	54,720台	2003年5月～2005年12月		
HSW-50S3	82,887台	2004年10月～2006年5月		
HSW-50S5	13,800台	2006年5月～2007年2月		
合計	329,406台		2200001～2213800	c

改修率

6.6%（平成24年11月30日現在）

対象製品の外観（写真はHSW-50S3）



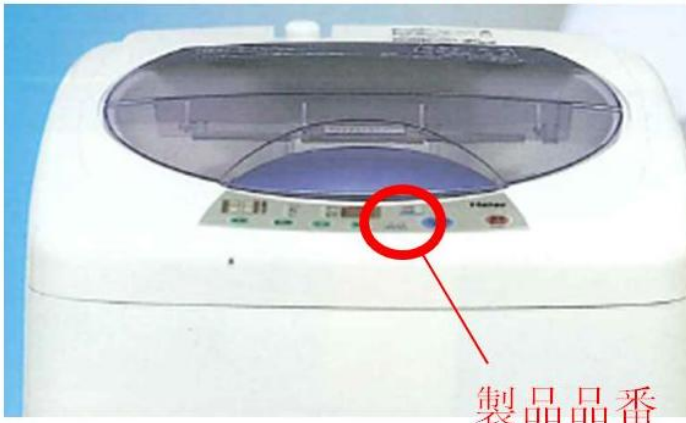
対象製品の確認方法：

- 1) 確認方法 a（販売元がハイアールジャパンセールス株式会社の製品）
 定格銘板で下記の型式及び製造番号を確認してください。

Haier 全自動電気洗濯機 JW-Z45A (50/60Hz用) ●標準用水量 41L ●標準使用水量 117L ●標準脱水容量 4.5kg ●外形寸法 奥行 508mm 高さ 895mm																
<table border="1"> <tr> <th>水位</th> <td>10</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <th>洗濯容量 (・以下)</th> <td>4.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <th>水量(L)</th> <td>41</td> <td>33</td> <td>27</td> <td>15</td> </tr> </table>	水位		10	6	4	1	洗濯容量 (・以下)	4.5	2.0	1.0	0.5	水量(L)	41	33	27	15
水位	10	6	4	1												
洗濯容量 (・以下)	4.5	2.0	1.0	0.5												
水量(L)	41	33	27	15												
2003年製 三洋ハイアール株式会社 大阪市天王寺区生玉前町3番25号タマビル10F		製造番号 G 100000														

- 2) 確認方法 b（販売元が三洋ハイアール株式会社の製品）
 操作パネル上の製品品番又は定格銘板で型式を確認してください。

操作パネル上の製品品番を確認



製品品番

Haier 全自動電気洗濯機 HSW-50S2 50-60Hz用 定格電圧・周波数 100V・50/60Hz 定格消費電力 345/390W 標準洗濯容量 5.0kg 定格時間 標準コース 48分 洗いのみ 23分 製造番号 0000000 回路図 三洋ハイアール株式会社 MADE IN CHINA	
--	--

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(ハイアールジャパンセールス株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-865-123

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.haierjapan.com/support/index.html>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担当：大木、長井、川船
電話：03-3507-9204（直通）
FAX：03-3507-9290

(株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）についての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当：宮下、谷、山田 電話：03-3501-1707（直通）
FAX：03-3501-2805

(森田電工株式会社（現 株式会社ユーイング）が輸入した加湿器についての発表資料に関する問合せ先)

(三洋ハイアール株式会社（現ハイアールジャパンセールス株式会社）が輸入した電気洗濯機についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当：宮下、古田、長沼 電話：03-3501-1707（直通）

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200690	平成24年12月4日	平成24年12月17日	ガス衣類乾燥機 (LPガス用)	NH-G50A6	松下電器産業株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災 軽傷1名	当該製品を使用中、当該製品内部及び可燃物(衣類)を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	12月13日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200691	平成24年12月5日	平成24年12月17日	石油給湯機付ふろがま	RPE32VSN	TOTO株式会社[製造:東陶エプロ株式会社(解散)]	火災	ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	茨城県	製造から15年以上経過した製品
A201200692	平成24年11月23日	平成24年12月17日	石油ふろがま	JPM	株式会社長府製作所	火災	ボイラ小屋で当該製品のタイマーが途中で停止したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	栃木県	製造から30年以上経過した製品
A201200693	平成24年12月6日	平成24年12月17日	石油温風暖房機 (開放式)	FA-3010S	ダイニチ工業株式会社	火災	当該製品のスイッチを入れてその場を離れた後、異常に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	山梨県	
A201200696	平成24年12月5日	平成24年12月18日	密閉式(BF式)ガス給湯付ふろがま (都市ガス用)	RBF-22S(東邦ガス株式会社ブランド:型式RUB-6(N))	リンナイ株式会社(東邦ガス株式会社ブランド)	火災	当該製品で追い焚きしていたところ、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	岐阜県	12月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200697	平成24年12月8日	平成24年12月18日	石油ストーブ(開放式)	NX-22Y	株式会社コロナ	火災 死亡1名	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	大分県	平成20年9月17日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 1.6% 12月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200698	平成24年12月8日	平成24年12月18日	ガスふろがま用バーナー(都市ガス用)	TA-OK270	株式会社世田谷製作所	火災	当該製品を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部(整圧器)のダイヤフラム(ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁)に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	兵庫県	製造から10年以上経過した製品 平成19年4月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 72.1% 12月11日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済事故 12月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200701	平成24年12月14日	平成24年12月19日	ガスこんろ(LPガス用)	KDH-602CB-R	パロマ工業株式会社(現 株式会社パロマ)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品を使用したまま外出した状況を含め、現在、原因を調査中。	山梨県	
A201200702	平成24年12月9日	平成24年12月19日	ガスこんろ(LPガス用)	IC-E600GP-R	パロマ工業株式会社(現 株式会社パロマ)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品を使用したままその場を離れた状況を含め、現在、原因を調査中。	栃木県	
A201200704	平成24年12月1日	平成24年12月19日	屋外式(RF式)ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	GT-243AWX	株式会社ノーリツ	重傷1名	当該製品で追い焚き後、幼児(1歳)を浴槽に入れたところ、両足に火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200688	平成24年4月18日	平成24年12月17日	椅子	6928-3	株式会社店研創意 (輸入事業者)	重傷1名	店舗内で当該製品に座っていたところ、座面と脚部が外れて転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは、11月2日報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意
A201200694	平成24年12月5日	平成24年12月17日	加湿器	ML-550MF	森田電工株式会社 (現 株式会社ユーイング) (輸入事業者)	火災	病院で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	平成22年1月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率 7.6%
A201200699	平成24年12月7日	平成24年12月18日	LEDランプ(電球型)	JSD1107CB-B1108	株式会社エス・ティー・イー (輸入事業者)	火災	施設で当該製品を使用中、異音とともに当該製品が破裂して出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	宮城県	12月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200700	平成24年12月15日	平成24年12月18日	電気洗濯機	HSW-50S3	三洋ハイアール株式会社(現 ハイアールジャパンセールス株式会社) (輸入事業者)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	平成22年11月12日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 6.6%
A201200703	平成24年12月8日	平成24年12月19日	照明器具	KTG4105AZ(コイズミ照明株式会社ブランド)	株式会社豊田照明 (コイズミ照明株式会社ブランド)	火災	店舗で当該製品を複数台設置して使用中、当該製品の1台から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	千葉県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200689	平成24年12月2日	平成24年12月17日	調光器	火災	飲食店で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201200695	平成24年12月11日	平成24年12月18日	エアコン(室外機)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	製造から15年以上経過した製品

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

椅子 (管理番号 : A201200688)



照明器具 (管理番号 : A201200703)

